

ターニングエイジのためのアンチエイジング機能を大幅にプラス！

ご存知ですか？肌不調(自分では自覚しにくい微弱炎症)が老化を促進している事実を！

ケイコンセントレートオイル プラス 30mL ¥10,000 (税抜)

2017年11月1日(水) リニューアル新発売

株式会社ドクターケイ(所在地：東京都港区北青山3-12-9 花茂ビル3F)は、2013年11月21日より発売しておりました「ケイコンセントレートオイル」に新成分を追加した新処方「ケイコンセントレートオイル プラス」(30mL/¥10,000-税抜)を、2017年11月1日(水)にリニューアル新発売いたします。容量をこれまでの20mLから1.5倍の30mLに増量し、毎日のスキンケアに継続して使っていただきたいという思いから、価格は据え置きとさせていただきます。2017年で15周年を迎えたドクターケイは、皮膚医療の現場から誕生したスキンケアブランドとして変わらぬ想いをもちながら、より良い製品を皆さまにお届けしてまいりますので、今後もドクターケイにご期待くださいませ。



今までとは違う肌不調、 その原因は肌が微弱炎症を起こしているから



最近
肌がゴワつく

頬のかさつき
赤みが気になる

ハリツヤ感が
失われてきた

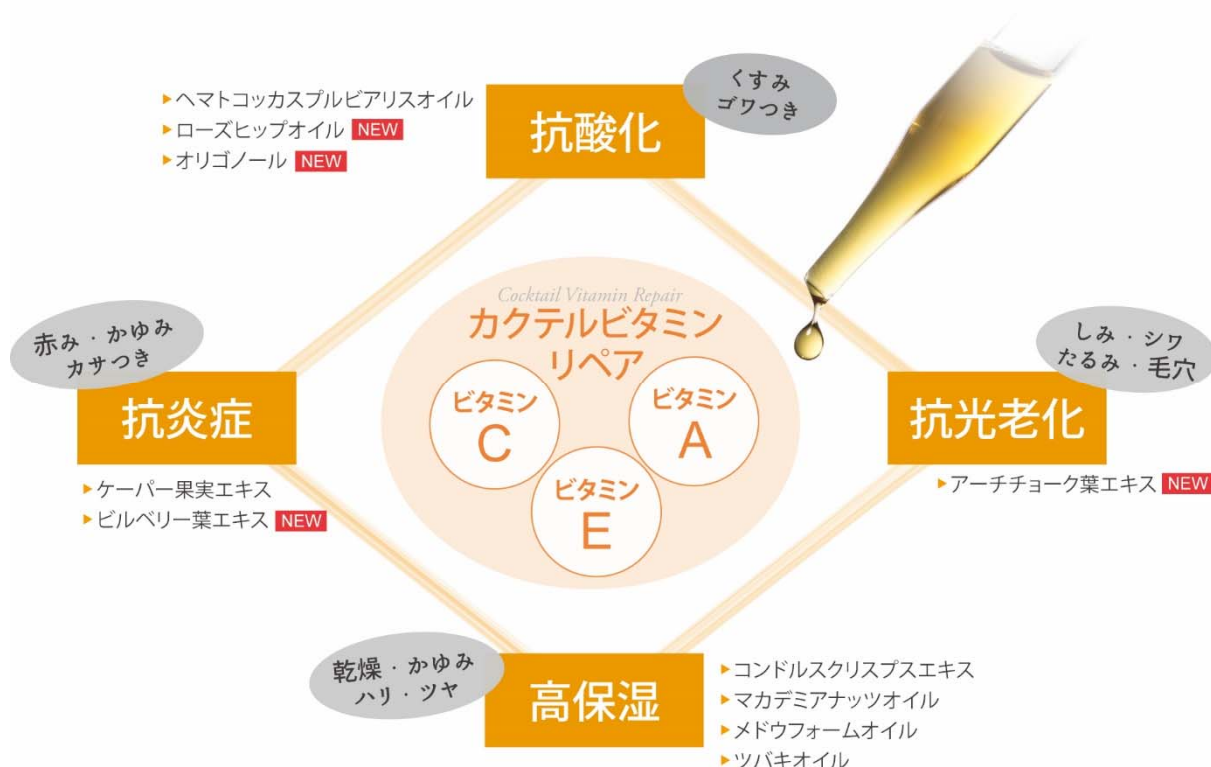
毛穴が
開いて目立つ

肌がくすむ
顔色が冴えない

全体的に
かゆみが生じる

ドクターケイ開発医である皮膚科専門医 亀山孝一郎 は、日々の臨床経験のなかで、今まで使用していた化粧品が突然肌に合わなくなる、きちんとケアをしても肌がゴワつく・かさつく、慢性的なハリ不足、ぽっかり開いた毛穴、肌がくすんで顔色が冴えない、かゆみを感じる、頬の赤みなどの「肌不調(自分では自覚しにくい微弱炎症)」に悩みを抱える方が増加傾向にあることに気づきました。それらは加齢やストレスの蓄積による酸化、光老化、バリア機能の低下、ホルモンバランスの乱れなど複合的な要因から引き起こされるということが分かりました。そこでドクターケイでは「肌不調」を感じている30代中盤から40代以上の方々を「ターニングエイジ」と名付け「肌不調」に負けない内側からアクティブに、はつらつとした肌へと導く美容液オイルを開発しました。

ターニングエイジのため「肌不調」にアプローチ



「ケイコンセントレートオイル プラス」は皮膚科専門医の視点で選んだピュアオイルとカクテルビタミンリペアを軸とした美容成分を配合しています。各種配合成分が互いに効果を引き出して高めあうように設計しており、抗酸化・抗炎症・抗光老化に働きかけながら、同時に高い保湿力を維持し肌への栄養補給、新陳代謝促進、バリア機能UP、皮膚機能を正常に保ち、傷の修復などに働きかけることでターニングエイジに起こりがちな肌不調を全方位的にケアします。

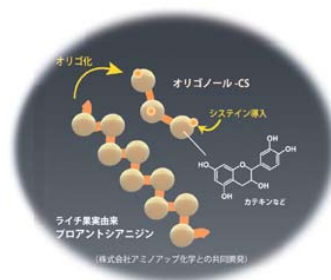
ターニングエイジケアのために新配合した4つの成分

ローズヒップオイル(カニナバラ果実油)

南米、ヨーロッパ、西アジアに生育する野生のバラの一種で非常に多くのビタミンCを含み、主成分であるリノール酸やリノレン酸による細胞組織の活性化が期待されています。日焼けや色素沈着の鎮静化(抗炎症作用)や水分保持、加齢による皮膚老化の抑制など総合的な美容効果が期待される成分です。

オリゴノール(システイン/オリゴメリックプロアントシアニジン)

ビタミンCの50倍、ビタミンEの20倍ともいわれるほど高い抗酸化効果を持つオリゴノールをセンサー機能のある特殊なマイクロカプセルに包み込み乾燥やオイリーなどの肌トラブルへ直接働きかけます(アクティブデリバリーシステム)。そして皮脂の酸化を防ぎ、繊維芽細胞を保護してコラーゲン、エラスチン、ヒアルロン酸の産生を促進し、皮膚のしわ、シミなどの老化を防止します。



アーチチョーク葉エキス(バイオベネフィティ)

肌老化の鍵となるNF- κ B(エヌエフカッパービー)を抑えることで、過剰な皮脂分泌・活性酸素の産生・メラノサイト増殖を抑制します。その結果、色素沈着や光老化を予防します。皮膚弾力改善作用、美白作用、毛穴改善作用が認められています。



ビルベリー葉エキス(キュアベリー)

炎症(ニキビをはじめとする肌トラブル)の発生の元となるサイトカインの産生を強力におさえます。また、GABA(ストレスケア成分)の産生促進効果、繊維芽細胞増殖効果、グルタチオン(活性酸素消去成分)産生効果があり、炎症の抑制とアンチエイジング、癒し効果が期待出来ます。



製品概要

製品名：ケイコンセントレートオイル プラス(美容液オイル)

容量：30mL／価格：¥10,000(税別) 発売日：2017年11月1日

販路：公式オンラインショップ<http://www.doctork.jp/>

取扱店舗情報(<http://www.doctork.jp/shoplist/>)にてご確認ください

美容成分：

- ◆スクワラン【肌の新陳代謝促進】※ピュアオイル
- ◆ハマトコカスブルピアリス油【抗酸化効果】※ピュアオイル
- ◆ホホバ種子油【バリア機能】※ピュアオイル
- ◆マカデミアナッツ油【保湿】※ピュアオイル
- ◆メドウフォーム油【保湿】※ピュアオイル
- ◆ツバキ油【保湿】※ピュアオイル
- ◆ローズヒップオイル(カニナバラ果実油)【抗酸化/皮膚の機能を正常に保つ】※ピュアオイル **NEW**
- ◆カクテルビタミンリペア(ビタミンA、ビタミンC、ビタミンE)
- ◆ケーパー果実エキス【抗炎症】
- ◆アーチチョーク葉エキス(バイオベネフィティ)【抗光老化/毛穴ケア】 **NEW**
- ◆オリゴノール(システイン/オリゴメリックプロアントシアニン)【抗酸化/バリア機能UP】 **NEW**
- ◆ビルベリー葉エキス(キュアベリー)【抗炎症】 **NEW**
- ◆コンドルスクリスプスエキス【肌への栄養補給/肌の修復/保湿】

使用用法：

化粧水・美容液で肌を整えた後、スポイト2～3滴分を肌全体になじませます。その後、乳液またはクリームで仕上げます。また、化粧水の前にブースターとして使うことで化粧水やその後のアイテムの浸透が高まります。



「ケイコンセントレートオイル プラス」は7種のピュアオイルを配合しています。それぞれのオイルの特性を最大限に活かす絶妙な配合比率を割り出し、オイルの概念を超えたサラサラなテクスチャーを叶え、使い心地と効果実感を両立しました。“オイル＝ベタベタするから苦手”といった意識のある方でも心地よく、通常のスキンケアに取り入れていただけます。また、遮光タイプの容器を採用したことで最後の1滴まで、フレッシュな状態でお使いいただけます。

Dr. Kameyama's message

最近、体内の細胞に活性酸素などによる強い酸化ストレス等が加わり、DNA損傷が誘導され、細胞の増殖が停止する細胞老化という現象が起こることが判明しました。このような長く生き残った老化細胞から、各種炎症性サイトカイン、タンパク分解酵素など炎症や発がんを促進させる作用のある多様な因子が分泌されることが明らかになってきました。この現象はSASP (senescence-associated secretory phenotype: 細胞老化関連分泌現象) とよばれています。**SASPは自分では自覚しにくい慢性の微弱炎症や老化そして発がんを引き起こします。**

皮膚は常に紫外線や大気汚染物質に接し、大量の活性酸素や炎症性サイトカインに晒されているのです。これらの物質は正常な肌の代謝を阻害して老化を促進します。体内で生じる活性酸素、サイトカインの影響以外に紫外線などの影響を受ける皮膚は、生体で一番過酷な条件下で存在しているのです。IL-1(炎症性サイトカイン)は炎症を起こす際に最初に分泌され、NF- κ B(転写因子として働くタンパク質複合体)などを活性化して、IL-8、TNF- α などの様々なサイトカインやタンパク分解酵素を分泌させ、激しい炎症を引き起こします。

「ケイコンセントレートオイル プラス」は、IL-1をビルベリー葉エキスで抑制し、続いて様々なサイトカインの転写因子であり、炎症の指揮者であるNF- κ Bをアーチチョーク葉エキスで抑えます。そして炎症に伴う活性酸素を消去するために、極めて強力な抗酸化作用を発揮するオリゴノールを配合しました。

そう、自分では自覚しにくい微弱炎症を食い止めるのが「ケイコンセントレートオイル プラス」なのです。



「ドクターケイ」はビタミンC療法の第一人者である、皮膚科専門医 亀山孝一郎が開発したクリニック美容のスキンケア。2002年6月のスタート以来、美容皮膚科学と化粧品科学が融合した先端スキンケアブランドとして、肌悩みをもつ女性たちの高い支持を獲得してきました。“肌は心を映す鏡”という亀山医師のモットーのもと、肌を美しく整え幸せな人生のサポートをする化粧品の開発を続けています。



皮膚科専門医
医学博士

亀山 孝一郎
青山ヒフ科クリニック院長

1980年 北里大学医学部卒業。その後、北里大学皮膚科に入局。

1986年1月～1989年5月

世界最大の研究所・米国立保健衛生研究所にてメラニンの生成について最新研究に没頭。

1994年 自由が丘クリニック皮膚科部長就任。

1998年 皮膚科専門医、医学博士号取得。北里大学皮膚科講師就任。

1999年 世界に先駆けて「ビタミンCのニキビに対する効果」と題して書いた論文発表。この研究をきっかけに、ビタミンCとニキビ、テカリ、オイル肌との関係を詳しく分析し、ビタミンC療法の第一人者と呼ばれるようになる。

同年、独立し、青山ヒフ科クリニックを開設。

2002年 オリジナル化粧品ブランド「ドクターケイ」を発表。

皮膚科専門医として30年以上の経験を重ね続け、今も最先端研究に臨みながら肌悩みを抱えて来院された患者様への根本治療に日々尽力している。

本件に関するお問い合わせ先・媒体掲載・ご体験・ご取材依頼先

株式会社ドクターケイ



〒107-0061 東京都港区北青山3-12-9 花茂ビル3F

Tel:03-5464-1217 Fax:03-5464-1218

PR担当: 山口 智子

Mail: tyamaguchi@doctork.jp